



No.44

平成30年 12月定例会

村議会だより



祝 新多良間村製糖工場

主
な
内
容

第4回定例会(12月)

- ◇一般質問……………2P～7P
(12月11日に行われ6名が質問しました)
- ◇広報委員長の抱負、編集後記……………8P
- ◇多良間中学校一年生議会傍聴感想・別紙

村公式HP
でも読めます



the most beautiful
villages
in japan

問 水納島高速運搬船の進捗状況は
答 平成31年3月下旬に引渡作業へ



富原 安則 議員

平成29年度、沖縄振興特別推進市町村交付金事業総額費が8100万、契約内容が、12トン型の高速運搬船。広島県の瀬戸内クラフト株式会社と契約が結ばれ、多良間村に平成31年3月29日に引き渡しするとなっている。その後、船舶建造進捗状況は。

●契約締結後の進み具合は

平成29年度、沖縄振興特別推進市町村交付金事業総額費が8100万、契約内容が、12トン型の高速運搬船。広島県の瀬戸内クラフト株式会社と契約が結ばれ、多良間村に平成31年3月29日に引き渡しするとなっている。その後、船舶建造進捗状況は。

●引き渡し後の指定管理者の予定は

引き渡し後、船舶停泊基地は、前泊港あるいは水納島、どちらに予定されているか、指定管理者はどのような方を提案される予定であるのか。

総務財政課長

離島航路は海上交通手段として必要不可欠であり、多良間との往来、生活物資の運搬、産業である牛の運搬、郵便物の受け取り、緊急時の搬送や観光客の輸送等、唯一の交通手段である。現連絡船が不能になった場合、住民の生命に関わる大きな問題や産業振興、観光客の受入れが不能となる事

総務財政課長

一括交付金を活用しての平成29年度事業である。平成29年度事業である。平成29年度事業である。平成29年度事業である。

解消が本事業の必要性であり、水納島の宮国さん、有限会社南島牧場で管理運営してもらうことがスムーズな運航につながるものとの思いで、水納島の皆さんを予定している。

主張

水納島に指定管理、停泊基地もということですが、我々議員は5年前から、特に豊見山議員が一生懸命要望してきた。この船はあくまでも生活航路というのは、確か。しかし、我々多良間村に対しても大事な船であります。フェリーたらまが17ノット、この高速艇は25ノットだ。宮古までは1時

間足らずの時速だ。多良間島の観光産業につなげるように、最終的には議会の議決が必要なので、3月の引き渡し委託管理の時点で詳しく質問する。

●食事・お土産施設 工事の進捗状況は

多良間村地域振興拠点整備事業の食堂・お土産施設は、平成27年に一括交付金が認められて基本計画が始まり、平成30年4月完了であったが、平成31年3月20日の繰り越し事業となっている。事業建築施設の進捗状況は。

観光振興課長

今月の20日頃を目途に第1回のスラブ打ちが行われる予定になっている。そして、31年の1月中には2階まで棟上げ、スラブを行う

予定で進めているが、進捗の状況として、11月末の時点で、予定の工程よりも4.7%おくれている状態だ。

●南風原団地の建替え 工事はいつか

村営住宅建替え工事費が29年度の予算で1億3000万あったが、全額不用額となっている。土木建設課長は、南風原団地は4軒あり、年に1軒ずつ、4年計画で進めていると答弁されていた。あれから1年過ぎたが、南風原団地の進捗状況はどうなっているか。

土木建設課長

28年、29年と進めてきたが、29年度の時点で、不落続き、辞退続きだった。県と相談し、29年の事業をそのままそっくり30年度31年度にスライドするということでの段取りを進めている。

問 製糖工場の完成度は
答 1月から250トンに



本村 健次 議員

●最初の稼働率は

待ちに待った多良間村多良間製糖工場が完成し、平成30年11月21日に落成式典並びに祝賀会が盛大に行われた。建設に当たっては、震災復興事業、東京オリンピックに向けての事業等の影響により、職人不足、資材高騰など、大変厳しい情勢の中、工事入札も不落が相次ぎ、完成も当初の計画より大きく遅れ、本日に30年、31年期製糖にも間に合

うのかと心配していたが、来る12月17日、操業開始の運びとなっている。農家の皆さんも、サトウキビ収穫を楽しみにしていらっしゃると思う。

操業に向けては、原料を使つての圧搾作業と試運転も何度か行われてきたようだが、不具合も幾らかあると聞いている。旧工場と同じ圧搾能力があり、一日250トンとなっているが、試運転等をして稼働率は何パーセントぐらいと、最初の稼働率は何パーセントぐらいと見ているのか。

産業経済課長

操業に向けて、今の段階をお答えしていきたいと思う。

11月19、20日、23日で、原料60トンで試運転を実施している。前処理施設、圧搾設備において、幾つかの不備、不具合が発生しているが、対策、そして手直しを終え、再試運転を12月6日に原料30トンで実施している。今後、幾つかの課題はあるが、操業を続けながら対応できる範囲内であるということだ。

意見

また、工場全体の設備としては、ほかにも清浄施設、電気設備、ボイラー設備等があるが、電気、ボイラーに関しては、多少の手直しはあるものの想定内であり、問題なく対処できるとのことである。また、清浄設備に関しては、試運転を重ね順調な仕上がりとなっており、今後の操業に当たり精度を高めて対応していくとのこ

これまでの工事関係者からの説明の中にも、スムーズな運転になるには、2年、3年という期間で手直ししながらということがあった。順調ではなくても、製糖期間が大幅に遅れたりして農家に迷惑をかけないように、しっかりと製糖工場と月島機械と連携をとり、万全な体制で出来るだけ計画どおりに操業ができるように取り組んでいただきたい。



「近代的なモニターで監視」



「四重圧搾機」

問 工場の追加費用問題の現状は
答 調停に向け準備を進めている



豊見山 正 議員

●月島機械株からの追加費用問題は

この問題については、関心を持っている村民が多いので、現時点でどうなっているのか村長に説明を求めらる。

村長

月島機械側は、当初から総額税込み3億670万余を追加費用として請求している。それに対し、多良間村は、裏づけ資料の開示がないと納得できないと主張してきた。

その後、一転して、追加費

用等請求調停事件として、那覇簡易裁判所調停委員を係りに調停の申し立てがあり、その中で裁判所及び調停委員のもと、伊良皆村長、特定の担当者及び委員ら及び代理人らが守秘を約束するならば、あるいは守秘が約束されたのと同等の環境または条件等が整うのであるならば、見積書、請求書及び未払い明細を黒塗りなしで開示することができると言ってきた。

これに対し、多良間村としては、次のような回答をすることとした。「月島機械から提出された黒塗りなしの証拠資料一式を、多良間村に持ち帰り、多良間村議会の議員に確認してもらうこと。さらに、月島機械が提

出する資料の中に、見積書、請求書及び支払い明細に加えて、領収書、振り込み書等の支払い自体を表する資料を加えること」などを回答した。以上が現在までの状況である。

質問

調停は、村長、担当あるいは執行部が責任を持って推し進めるべき問題である。今回の調停は、一億円以上の要求であろうと思われる。どの金額で落ちつか知りませんが、そうした場合の支払いの財源どうなのか。

村長

現在、調停に向けて進めているところである。1億円以上という合意文書がありますけれども、当初3億ということであった。どの額で調停が決まるかは、未定で

あるが、財源については、今後、議会の同意を得ながら進めていく。

主張

工事は既に完成し、その工事金額も全て支払いされている。今、議論している追加費用というのは、工事とは関係のない、いわゆる損害賠償請求である。12月定例議会の中にも、弁護士着手金216万円が農業振興費として計上されている。村がちゃんと工程管理をしていれば追加費用問題も発生しなかったであろうというのが私の一貫した主張である。

弁護士費用も、既に多額に上っており、このような多額の弁護士報酬、そして1億円余の損害賠償を支払うこととなっているのは村の行政執行のミスによるものだ」と再度指摘する。

●糖度計測をコア
サンプラー方式へ

同一圃場における糖度の大きなばらつきは、人為サンプルのせいではないかとの生産者の不満がある。その不信感を払拭するためには、客観性のあるコアサンプラー方式がいいのではないか。

産業経済課長

採取方法とか、課題等の聞き取りも必要になってくる。そういう中で、工場、それにサトウキビ生産組合、役場の中で導入に向けての検討はしていく。

意見

やはり客観性のあるコアサンプラー方式にしてもらったほうが生産者にも納得がいく。ぜひ来期に向けての検討課題にしていきたい。

問 島外居住者にも航空運賃低減を
答 既に3割低減している



渡口 直和 議員

●航空運賃低減の要請
活動をしていく考えは

現在、多良間、宮古航空

運賃は、特別割引きという
地元優遇措置が施され、往
復7000円という比較的
低料金で設定されており、
地元にとっては大きな経済
的な負担軽減である。また、
多良間を含めて、宮古、石
垣、宮古、那覇間には離島
割引運賃制度があり、通
常料金の4割は負担軽減さ
れているようだ。

この数字は、今回の県議

会において、宮古選出の座
喜味一幸県議の質問に企画
部長が答弁しており、さら
には、離島住民の高コスト
の負担軽減を安定的に、継
続的に実施していくと明言
しており、大いに期待でき
る。

ところで、宮古、石垣、
宮古、那覇には約4割軽減
されているが、宮古、多良
間はどうかでしょうか。島外
に居住する方が利用する宮
古、多良間の往復運賃は1
万1200円。宮古、石垣
は往復1万1000円。距
離的にも時間的にも2倍か
かるのに、宮古、多良間よ
り安い。これには誰もが疑
問に思ってしまう。以前か

ら島外に居住する郷友の方
々や出張への方、遠くから、
宮古、多良間の航空運賃は
高過ぎるという不満の声が
数多く聞こえており、早期
の改善、改定が望まれる。
幸い県議会でも航空運賃
問題が提言され、議論され
ている今がまさに要請活動
のビッグチャンスではないだ
ろうか。村長、このビッグ
チャンスに、特に宮古、多
良間の航空運賃の低減や減
免の早期実現に向け、強い
本気度を持って要請活動し
ていく考えはあるのか。

村長

今の宮古、多良間間の航
空運賃ということでありま
して、この件については、前
から、小規模離島は島外か
らの交流人口を増やすこと



問 かんがい施設事業の実施時期は
答 2年後に事業採択を目指す



福嶺 常夫 議員

● 地区調査及び事業の実施はいつか

島の年間雨量は不安定で、順調な農作業が行えないような状態だ。水あり農業の実現、水不足を解消して農業経営が順調に取り組めるような体制づくりをしていく必要があると考える。畑地かんがい排水事業による農産生産の向上と農業経営の安定を図る国営かんがい排水事業の地区調査等の状況及びかんがい施設事業の実施の時期は。

村長

事業化に結びつけるために、長い期間にわたって調査をしてきたが、これまで厳しい結果だった。その結果を見直し、この3年間実現に向けた調査をさらに深めた。いわゆる費用対効果がよくやくーを上回るような調査と、実現に向けた基本的な事項がそろいつつある。それを実現するために、もっと水ができた場合にどういった高収益作物ができるかを含めて平張ハウスや、あるいはトンネルハウス等の実証を続けている。その結果、平成31年度、地区調査という事業に持っていけるよう、国に要望している。地区調査

は2年間、その2年間で事業実施の計画を立てて、2年後には事業の採択を目指す。

● 抱護林の遺産登録への取り組み

抱護林は、かつては沖縄県に広く存在していた。今は多良間島にしか残っていない、伝統的な人工林である。風水思想と関連を持つ蔡温の陸林法、林業政策の伝統的な地理思想が反映され、形成された村抱護である。抱護林の林業遺産登録申請の概要は。

教育長

林業遺産は、日本各地の林業発展の歴史を将来にわたって記憶、記録していくための登録として、平成25年から選定が行われている。多良間村の集落の周囲を取り囲む抱護林は、蔡温が当

時の宮古島の頭だった白川氏恵通に通じて造成され、現在、県内に残る最もよく保存されている状況の一つと言われている。一部、開発されて消失しているところもあるが、良好な形で残っており、現在も集落や農地の保護に不可欠なものだ。このことから、琉球王朝時代に策定された林政八書の林業政策を体现している多良間の抱護林を、美術体系として農業遺産に推選していくこととすることで、沖縄森林管理署の宮署長から推薦の申し出があり、多良間村教育委員会及び多良間文化財保護委員の皆さんに対し、林業遺産の推選の内容の説明と確認を行い、同意を得て、現在、申請手続に入っていると。認定が3月の見込みである。

● 姉妹市村の宮古市とのさらなる親睦交流を

姉妹市村の宮古市との交流は、児童生徒の体験交流学习が毎年実施をされている。しかし、民間レベルや古市会の交流訪問が実施されていないような状況だ。宮古市民との親善交流の促進を図り、さらなる交流の輪を広めるべきだと思う。

教育長

民間レベルの交流は大切だと思っている。宮古市会が呼びかけ人となって訪問団ツアーを計画するなどを検討していきたい。
なお、本年度、宮古市と家族単位で交流したという一組を確認している。また年末には、多良間から1家族が宮古に来ますよという情報も入っている。

問 有料ホームや特養ホーム建設誘致は可能か
答 施設整備は地域全体で考えていく問題



安里 三喜男 議員

●高齢者の介護福祉は

世界的に少子高齢化の傾向がある中で、日本の高齢化率は21・5%、多良間村も28%という数値で、超高齢化社会となっている。この状態は、ますます深刻な問題になっていくと思われる。高齢者は、年齢を重ね

体が不自由になった時、子供や身内には絶対に負担や心配をかけたくないが、施設入居となると年金だけで費用は大丈夫なのかなどを心配している。有料老人

ホームは、民間企業が運営する民間施設で月額費用が15万から40万円。対して、特養ホームは、社会福祉法人や自治体が運営する公的施設、それでも月額費用の目安は9万円から13万円となっている。その事も踏まえ多良間村においても有料老人ホーム、特別養護老人ホーム等の建設あるいは誘致は可能か。

住民福祉課長

平成26年6月に多良間村介護福祉施設検討委員会を設置し、平成27年2月に調査報告書が村長へ答申されている。その中で高齢者福祉対策として、現在、高齢者の生活機能の維持、改

善を目標に介護保険事業による各種サービスが提供されている。利用者は年々増加しており中には、島を離れ、島外の介護保険施設で生活を余儀なくされる高齢者も多数おられることから、利用者へのニーズにこたえられる施設整備等についても大きな課題と言える。介護施設の整備は、高齢者福祉増進の観点から必要不可欠との認識であるが、施設整備に当たっては、健全運営、持続可能な施設でなければならぬことを勘案し、現段階では、施設整備についての判断は難しい状況にある。以上のことを踏まえ、今後への検討と、現在、通所介護施設、短期入所施設として利用している高齢者生活センターの機能拡充についても検討することが現段階における最善の方法と考るとの報告を受けている。平成

30年10月現在で、総人口が1,169名、65歳以上の人口が336名、高齢化率28・7%、520世帯のうち223世帯が高齢化世帯となっている。この様な状況の中、多良間島にどのような施設が良いかというのは地域全体で考えていく問題かと思われる。

質問

今後、多良間村もさらに高齢者が増加する傾向にあり、介護施設の不足が予測されているが高齢者を住みなれた地域、自宅でのように支援していくのが大きな問題となってくる。そこで、村社会福祉協議会、萌木の里の現在の利用状況は。

住民福祉課長

現在の萌木の里の職員数25名、うち正職4名、臨時、パート21名となっております。介護

支援専門員1名、看護師1名、介護福祉士が5人となっており利用者数が21名(デイサービスも含む)その中に要介護認定1から3の方が19名、要支援1から2の方が2名、ショートステイ、24時間で週1回、火曜日に自宅に戻られる16名の方が利用している。

意見

厚労省の調査でかつては自宅を最期を迎える人が8割を超えていたが、現在は1割まで落ち込み、かわりに8割強の人が医療機関で亡くなっているという調査結果があり、それでも自宅を最期を迎えたい人が55%以上もいることも現実である。誰でも生まれ育ったこの島で住み慣れた地域で最期を迎えたい思いがありその環境作りを早期に取り組んでもらいたいと要望する。

「議場は緊張感がすごかった」

多良間中学生が議会を傍聴



12月議会の一般質問時に、多良間中学校1年生14名と担任の先生が議会を傍聴に訪れました。緊張した面持ちで、静かに会議の流れを見学していました。感想を頂きましたので、その内容を紹介します。



今回の議会の傍聴を通し、生徒達は村の行政をより身近に感じ、自分たちのものとして捉えることができました。これからの多良間村の未来を担う生徒達は今回の経験を糧によりいっそう地域に対する愛着と誇りを高めることができましたと思います。このような貴重な機会を作って下さりありがとうございます。

一年生担任 伊禮 寿憲先生

私は初めて見学して議員が多良間で困っている事などを、色々な課長さんに質問していて今の多良間の事がわかりました。

石原 優斗さん

私は議会を見て、村民のことをちゃんと考えているんだと思いました。議場は緊張感がすごかったです。

西筋 結梨さん

私は約二時間の議会をみて多良間の為にみんなが意見を言い合っている所が見えた。

亀山 琉華さん

僕は議会を見て思ったことがあります。議会は村民のみんなのために開かれていると思いました。自分たちの時もこんなふうになりたいです。

小祿 保さん

私は議会の様子を見て、難しい話ばかりしていてあまりわからなかったけど、緊張感を感じました。また、村議会で大くさんのお金が動いていることがわかりました。村議会を見ることで勉強になって良かったです。

奥平 偉翔さん

多良間中学生が議会を傍聴(つづき)

私は初めて知ったことがあります。それは多良間の未来の事を話している、村民のこととかを話している事が分かりました。さらに、一人の質問時間は三〇分でびっくりしました。

垣花 魁李さん

私は議会見学を通して、議会をする時は20人位いてたくさんの課長達みんな質問に答える事が分かりました。また質問する時や答えるときは、議長がきちんと指名して発言することも分かりました。

久志 舞香さん

私はこの議会で多良間村が少しずつ汚れていることや、それを解決する意見が出ているのを聞いて、私も多良間村のために何か意見を出したいと思った。

下地 健一郎さん

私は議会見学で村民の意見も入れながら質問していて、良くしようというのが分かった。また子ども議会では自分の意見を持ってやりたいです。がんばります。

本村 琴美さん

僕は議会を見て、20人くらいの人で行っていることが分かったし、議員が質問して、その答えを聞いて自分の考えを言っているのがすごいと思った。

桃原 司至さん

私は議会を見て感じたことが二つあります。なぜ、議会を撮影するのかということ、議員の人たちはたくさんの質問を考えていると思った。

安里 ひなのさん

私は議会を見て、何を言っているのかは難しくあまり分からなかったけど、議場内の真剣な雰囲気や流れなどが分かりました。

伊藤 莉子さん

私は議会を見て議員の人はすごいと思いました。なぜなら質問に対して答えてもらったのを受けて、またそれに対して質問をしていたからです。あと時間いっぱいまで自分の考えを伝えようとしていたのでそれもすごいと思いました。

洙川 藍香さん

私が最初にびっくりしたのは、役場にちゃんと議場がある事です。あと、カンカヤのおじさんとか友達のお父さんがいて、いつもと違う感じがしてかっこよかったです。自分も子ども議会では議員の皆さんみたいにかっこよく意見を言いたいです。

新里 鈴さん

子ども議会

今回傍聴した多良間中学校の一年生の皆さんで、こども議会を1月29日(火)に開催します。広報に内容を掲載する予定ですので、ご期待ください!

村の治安を守る消防隊員

新春恒例の村消防団の出初め式が1月7日に挙行され、日頃の訓練を披露した。

奥原団長、25年務めた消防団を退団。新団長に羽地健さんが任命された。



日頃の訓練に励み、盤石の消防体制を堅持されますよう、祝辞を述べる森山議長。

一日消防団長
石原 風花さん
「とっても緊張したけど、良い経験になりました。」



次回、3月定例会予定

3月8日)	一般質問
3月20日	議案審議

本会議は午前10時から開会

傍聴希望の方は役場2階へお越しください

詳しい内容やご質問等は、多良間村議会事務局までお電話ください。

☎0980-79-2014

傍聴時に複雑な手続きはありません。

広報委員長 今年の抱負

議会議員のあるべき姿

～村民の声を行政に～

富原 安則 議員



村議会は条例の設定や、予算審議、行政のチェック、県や国への意見書提出など、さまざまな役割を持ち、住民の声を行政に届け、反映される機関である。議会活動の大きな柱は、年4回の定例議会と必要に応じて開催される臨時議会だ。本会議では、監視機関として、是々非々の立場で強く行政をただし、村政発展のために全力で取り組むのが住民からの付託を受けた議員の責任である。これからも議員の責任、役割を肝に銘じ議会改革に全力で取り組んでまいります。皆様のより一層の激励、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

編集後記

輝しい新春を迎え、村民の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年は、待望の多良間村製糖工場も完成し、平成三〇年、三一年期製糖もスタートし村内は活気に満ちています。黒糖の多良間、農家の皆様にはこれまで以上に増産に励んで頂きたいと思っております。

観光拠点施設の建設も着々と進み、村の観光振興に大きく寄与するものと期待します。宮古、石垣の観光客数が大きく伸びる中、多良間は取り残された感がありますが、施設のフル活用で観光産業の発展を願います。

議会広報調査特別委員会
委員 本村 健次

